

月刊びゃっきープレス

2010

無料配布

↑あたりまえ

6月号

毎月初回ライブ日発行

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人

byacky press

びゃっきー INFORMATION

びゃっきーINFORMATION
随時更新中

<http://www.satram.jp/byacky/>
「びゃっきー」で検索。

ライブの情報や、レポート、日記、音源など、もりだくさんな内容でお届けします。



▲おそらくアキバに「萌え」文化を持ち込んだうちの一人、デジ子様の看板。これぐらいならオレにもわかる。

今や「萌え」の街と化した電気街

企画イベント「シンプル」も無事終了した翌日、びゃっきーは誘われたライブを見に、秋葉原へと赴いた。イベント準備に追われ、6月号のびゃっきープレスを作成していなかったため、秋葉原の街を散策してみようかと思いついた。思いついただけでやめておけばよかった。

第三形態を発動した秋葉原の居場所はないや

企画イベント「シンプル」を終えた翌日、びゃっきーは誘われたライブを見に、秋葉原へと赴いた。そのついでに秋葉原の街をぶらついてみることにした。

今はスツカリ「萌え」の街と化した秋葉原だが、これは第三形態だと思ふ。第一形態は、なにやらラジオやら回路やらの部品を売っていた「ラジオの街」、第二形態がオレには馴染みの「パソコンの街」、で、今が「萌えの街」と。そこかしこに「萌え絵」の看板があり、髪とカツコと人間が支離滅裂に分離しているコスプレの人がチラシを配っている。本当にどうしちやったんだろう。奇妙奇天烈な街だ。

とりあえず、阿佐ヶ谷のCDショップで手に入らなかったHALLCのLIの新譜を探しに、CDショップへ向かった。あれ？ 昔大きなCDショップだったところ、パソコンショップになつてた。じゃあ、えっと確かこの辺にモロールのプライズ。フリユーというプライズ会社が毎月発表していることない風景になつてるぞ。今の秋葉原でCDを買うのはなかなか難しかった。ようやく繁華街のはずれの方に大きなCDショップを発見。目当てのCDを購入した。

さて、次にどうするか。メイド喫茶にでも行ければいいのだが、基本、人見知りな激しいミュージシャンは、ハードルが高すぎる。とりあえず、そこかしこにあるゲーセンに入ってみることにしよう。目当てはシナイモロールのプライズ。フリユーというプライズ会社が毎月発表していることない風景になつてるぞ。今の秋葉原でCDを買うのはなかなか難しかった。ようやく繁華街のはずれの方に大きなCDショップを発見。目当てのCDを購入した。

「萌えパーツ」しかない。そりやそうだ。わかつてはもちろんいたんだが、少しぐらいあっても期待したオレがバカだった。

もう秋葉原はいや、という気分になり、あ、そういえば、ラーメン屋もいろいろあつたような気がする。今度、今度はラーメン屋を探してみることに。結構ある。逆にどこに入っていくものやらわからない。しかもつけ麺屋が多い気がする。オレつけ麺ってぬるくなるから好きじゃないんだよな。結局電気街とは反対の側に移動して、鹿児島ラーメンというのを軽く食べた。その足でライブハウスへと向かった。もうオレには今の秋葉原を闊歩する若さはない。(びゃっきー)

びゃっきーのiPad考

今大人気のiPad。携帯と比較して、持ち運びには不便。今ひとつ用途がはっきりしない。ノートパソコンのディスプレイのみという感じだろうか。ノートを持ち歩かなければならない人には、便利かもしれない。だが、この個人情報保護やらでノートパソコンの持ち出しも厳しくなっている状況下で、どれほどその代替品の需要があるだろうか。むしろびゃっきーは家での用途に期待したい。なんか寝転がって操作するのに最適そうである。人類は怠惰な発展を繰り返す。それがiPad。